

- ・コラム(杉浦 良)
- ・お知らせ(レジ袋一部有料化、消費税対応、中高生職場体験)
- ・太陽と緑の会からの助成報告
- ・ご協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

186号/2019 ▶ Since 1984

「人も物も活かされるという意味」 杉浦 良

「お客さんがタダで不用品を持ってきて、お金を出して別の品物を買う?!これってお宅!ボロモウケと違う?!」こんな言葉を聞かせてもらいました。

「タダでもろうて来て、仕入れ無料で販売するから儲かるんや?!」
そんな声もかけていただきました。



「なかなかうまくいこうとあ・・」と感心します。ただこれが本当なら納得ですが、そういかないのが現実です。1000 円で買い取ってくれるところがあるのなら、まずはそちらに持っていくのが一般的ですし、今はネット販売でやり取りされる方も多くなりました。買い取ってくれない品物、むしろ処分料がかかってしまう品物がここに集まってきます。無償で下さるもので商品価値があるものは「心ある方からの寄付」です。そんな品物をたくさん頂ける世の中であれば本当に嬉しいのですが、なかなかそうは行かないのが世間というものです。

もし効率的に収益率を上げ利益を優先すれば、今の太陽と緑の会の活動と反対の事をするのが、経営者として取るべき道でしょう。商品価値があるものは高く買い取り、そうでないものは無料で引き取るか、処分料を頂くわけです。集客力が高く回転率の高いトレンドの新品・リユース品に焦点を当て、商品価値が少なく回転率も低く、置き場スペースがたくさん必要な不用品はお金を頂き処分する、それが経営の常道でしょう。不用品を時間をかけず一括して対応できるため、早く処分したい方はこちらを選ばれるでしょう。

品物を物色できる目利きの人材を見つけ、仕入れ価格と販売価格、売場滞留時間と坪単価当たりの利益率を勘案し、データとして分析することで次の買取価格を決め、買取強化商品と買取できない商品を選別し、店舗販売店員は極力減らす・・、そんなことを思い巡らせていると「人も物も活かされる街づくり」などというコンセプトは、全く必要ないことが良くわかります。

「タメ口のあの兄ちゃん、態度も悪いし、指導がなってないんじゃないの?!」「受付にちゃんと電話入れたのに、何でちゃんと伝わっていないの?!」「私では分かりませんと言うばかりで、もっとちゃんとした人を電話口におけんの?!」「随分待っているけど、いつ来てくれるの?回収班の携帯は?」などと、お叱りもあります。これを根本的に改善しようとする、一部の問題のないハンディーあるメンバーしか入れない、受付はコールセンターなみの対応できる人にする、回収はハンディーあるメンバーでなく携帯にも対応できるスタッフだけで行う、そんな対策がすぐ浮かびます。しかしそれでは、なかなか自分で立てないハンディーあるメンバーや、今市場価値が薄いと言われる品物は捨てられる運命から逃れられません。長いスパンで見れば、今価値が低いとされるものがそうでなかったり、捨てるべきものが捨てたものではなかったり、使えない奴だと言われた人がそれなりに活きたりすることがあるのを、長い人生で見えました。

「捨てればゴミ、分別すれば資源」ということが言われてきました。歴史的には、ゴミは川や海に流したり、埋め立てたり焼却したりしてきました。自然分解できないゴミが増えるなかで、リサイクル（再生利用・サーマルリサイクル）、リユース（再使用）、リフューズ（環境に負荷がかかり過ぎるものは使わない）という言葉も生まれました。ただ人はゴミのようにはいきません。

お知らせ

レジ袋の一部有料化

太陽と緑の会リサイクル作業所では、リユース品ご購入の際の「レジ袋」について、資源の有効利用及びプラスチックごみの削減を考え、当初からレジ袋のリユースを積極的に行ってまいりました。

現在、新品のレジ袋（ポリ袋、ゴミ袋 当会で定期的に購入）に加え、市民の皆様から提供して頂いたレジ袋（ポリ袋、紙袋）も使用させて頂いておりますが、新品のレジ袋については、10月1日よりレジ袋代として1枚5円頂く事に致しました。レジでお手間をおかけ致しますが、よろしくお願ひします。

①新品のレジ袋 5円

②リユースのレジ袋 無料
（ただしリユース品のためサイズが限られており、大型の袋はないことが多いのでご了承下さい）

消費税の対応について

10月1日より消費税が8%から10%に引き上げられます。

本来は消費税を含めた総額の価格表示が義務付けられているのですが、平成25年10月に施行された特例により令和3年3月末まで、一時的に総額表示をしなくてもよくなりました。

しかし、当会ではお買い物される方にとっては消費税を含めた価格（税込価格）で表示する方が分かりやすい、との判断から、税込価格で表示しています。

10月1日以降も、引き続き消費税を含めた価格（税込価格）で表示させて頂きますので、よろしくお願ひ致します。

中高生職場体験

8月5日(月)国府中学校(徳島市)1年生5名の皆さんが、午後2時から2時間、体験ボランティアに来てくれました。

蒸し暑い中、一生懸命作業に取り組んで下さいました。

冷蔵庫で冷やしておいたみかんを、おいしそうにほおばる姿が印象的でした。

8月20日(火)午後1時から5時まで、徳島北高校から15名の学生さんが太陽と緑の会リサイクル作業所に体験ボランティアに来て下さいました。

今年の1月に続いての参加で、今回は衣料品の入替作業もやって頂きました。



松下照美さん来所

7月26日(金)、モヨ・チルドレンセンター代表の松下照美さんが、朝ミーティング前に話してくれました。ケニヤでストリートチルドレンの支援、シンナー中毒依存のリハビリ農園、貧困家庭の学資支援など、手の届く範囲での支援を続ける松下照美さんです。

「やれることを精一杯やれば、後は何とかなる。先のことは考えてもしかたない・・・」と言われたことで、後継者探しで思い悩んでいたが、少しだけ肩の荷が下りた、と言われました。

連れ合いを亡くされ、その後の人生をケニヤのストリートチルドレンに傾けた松下さん。大きな組織になればそんな訳にもいかないでしょうが、ゼロからの出発が元のゼロにもどったとしても、ストリートチルドレン達の記憶に、松下さんと過ごした日々は残っていくでしょう。

大きな組織の継続的支援より、そんなドラマの積み重ねが人の心に意味を形作る、そう思えたひと時でした。

桃を頂きました

福島市在住のOさんから立派な桃が届きました。誠に有難き事です。

残念ながら今は解散したJYVA(日本青年奉仕協会)からの青年長期ボランティアとして参加してくれたOさん。思えば当会が火事に見舞われた2005年に参加することになった事や、福島に戻り2011年の東日本大震災による津波被害と福島原発事故にも身近で遭遇するなど、実に大変な人生を歩んでこられました。今は家庭も築かれ、日々元気に暮らしておられることと存じます。日々是好日、そんな言葉を思い浮かべます。

阿波つれづれ譚

徳島新聞8月9日付朝刊の「阿波つれづれ譚」にて掲載して頂きました。

県内の各分野で活動されている方々によるリレー形式のコラムです。

5月に続いて2回目になります。

この連載をご覧になったSさんという方から、後日丁寧なお便りを頂きました。

昨年6月にご逝去された城満寺の大槻哲哉和尚とは生前お付き合いがあったこと、その城満寺で太陽と緑の会創立者の故近藤文雄にも会ったことがあること、またSさんは宮城県西多賀中学校のご出身で、近藤文雄が国立西多賀病院院長だった時に筋ジストロフィーの子供たちを受け入れたことから始めることになったベッドスクールの存在もご存知だったことが、お手紙に記されていました。

思いがけないご縁に驚くばかりです。

来所・見学

7月12日(金) 香川南部手をつなぐ育成会のどんぐり山作業所のメンバー、スタッフ、保護者の皆様

定休日について

水曜日、第2第4火曜日、及び祝日を定休日とさせて頂いております。

9月23日(月・祝日) 24日(火) 25日(水)
10月2日(水) 9日(水) 14日(月・祝日) 15日(火) 16日(水)

※10月8日は第2火曜日ですが開所

10月21日(月) 研修旅行のため臨時休業
10月22日(火) 23日(水) 30日(水)
11月4日(月・祝) 6日(水) 12日(火)
11月13日(水) 20日(水) 23日(土・祝)
11月26日(火) 27日(水)

太陽と緑の会からの助成 (50 回)

徳島市資源ごみ回収事業に係る奨励金（古紙1キロに対し5円、鉄屑、空き缶1キロに対し6円、ウエス1キロに対し10円、廃食油1キロに対して20円）平成30年度後期分（平成30年度前期配分）17万9200円が当会の太陽と緑の会福祉事業団に支給されました。

これを各分野で非営利活動に取り組んでおられる以下の団体の皆様に配分させて頂くことに致しました。（敬称略）

①障害者福祉活動への助成

徳島県精神障害者家族会連合会（みんなネットフォーラム2018in徳島）1万円
共同連（差別とたたかう共同体全国連合）（社会的事業所の法制化に向けた取り組みなど）2万4000円
大阪障害者労働センターマツサク 3000円

②社会福祉活動への助成

NPO法人抱樸（北九州ホームレス支援機構）3万円
大阪釜ヶ崎喜望の家（野宿を余儀なくされた高齢日雇労働者の支援活動）5000円
徳島いのちの希望（社会福祉法人徳島県自殺予防協会）（電話による相談活動）5000円

③国際協力活動への助成

公益社団法人セカンドハンド（チャリティーショップの運営を通じたカンボジアの教育支援・医療支援活動）1万2000円
認定NPO法人 日本チェルノブイリ連帯基金（チェルノブイリ原子力発電所事故被災者への医療支援）5000円
パシャワール会（アフガニスタン等での医療事業、水源確保事業、農業計画）1万円

日中青年交流協会（第15回日中青年交流事業）5000円（ハートフルゆめ基金とくしま）

④環境保全活動への助成

NPO法人 新町川を守る会（川を守り、水を活かしたまちづくり）3000円
NPO法人環境とくしまネットワーク（過疎地における小さなコミュニティエネルギーを活用した、次代を創り、つなぐ地域活性化事業）3000円（ハートフルゆめ基金とくしま）

⑥災害支援

社会福祉法人ありのまま舎（宮城県仙台市）（東日本大震災により被災された宮城県沿岸部の在宅重度難病者支援活動に対して）6万3680円
支援金振込手数料 520円

太陽と緑の会福祉事業団の助成活動は平成5年度よりスタートしました。各分野で非営利活動に取り組んでおられる個人・団体の皆様を対象に年2回、25年間で累計1526万5276円の助成を行ってきました。



イラスト 岡田さん

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2019年6月25日～2019年8月31日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付を下された皆様

西谷、匿名、関戸、原田、坂東、平田、匿名

品物を持って来て下さった皆様(郵送含む)

○徳島市○豊川、近藤、中川、西、榎野、団、森田、青木、鎌田、高橋、甲斐、古谷、川島、吉岡、佐々木、佐野、瀬尾、猪子、佐藤、福田、成田、竹田、楠本、榎山、武市、村川、太田、今川、北、新居、丸岡、山内、美間、西田、前田、伏谷、竹内、伊藤、富田、南、村上、津田、後藤、大畠、塩田、浄土真宗本願寺派徳島中組、相原、竹内、森下、宮本、大久保、平井、宇山、多田、石橋、大河内、堀井、喜田、野田、石川、井形、安藝、竹内、榎野、春田、ウォード、富岡、小川、藤黒、森、小山、木ノ桐、湯浅、土内、山下、櫻脇、廣田、宮越○藍住町○住友、廣瀬、浅川、木下、三浦○鳴門市○小川、赤松、疋田、高田○神山町○山口○板野町○藤木○吉野川市○花侍、鈴木○阿波市○藤田○松茂町○岩本○美馬市○畠中○勝浦町○グナワソ○阿南市○原○石井町○梅井、武市○小松島市○岩本、中、松本○東京都○小林、三木、高橋○大阪府○吉岡、藤田、永口○香川県○富島、松村○京都府○木村、磯田○兵庫県○川池○埼玉県○本田○広島県○草田○高知県○吉本○福島県○小野

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○内田、林、濱田、三木、元山、田中、佐藤、石園、多田関口、朝日、宮本、横山、岡久、西谷、出口、安井、福島、曳沼、谷川、亀山、佐々木、流、ホームメンテナンス、眞家、岸田、幸田、西林、白鹿、七條、山ノ井、森岡、大櫛、はり、シャイスタ、アフローズ、初井、南、手塚、多谷、三吉、佐伯、篠原、戸川、武知、久次米、端野、佐々木、藤木、安倍、野田、横山、中分、太田、横田、山下、村岡、楠根、増田、和田、志摩、ケアハウスあすか、浜田、濱田、久保、藤田、神田、寺西、上野、真鍋、オモダ、カミキ文具、八田、デグチ、美馬、小川、八十川、山崎、日浦、オグラ、渡辺、阿瀬川、増原、福原、元木、杉野、継岡、三笠、三木歯科、宮越、石原、小林、井上、阿部、西林、山本、藤田、ライトキア、佐伯、清重、金山、住友、佐川、矢藤、近藤整形外科、浜元、阿佐、桑村、三宅、厚見、板東、椎野、山田、林、阿部、柿本、宇治製薬秋田、沢田、幸田、今川、佐藤、芝、立川、松村、滝口、西谷、藤本、濱田、橋本、県総合看護学院、鈴江、田中、粟谷、勝浦、尾崎、久岡、今枝、金山、原田○上板町○宮本、濱、上原、関戸○鳴門市○古田、石川、柳谷、村島、五島、宇津、久龍○石井町○山口、谷田、友成、堀江、久米、瀬戸、阿部、遠藤、福島○吉野川市○武田○小松島市○大岸、山本、田原○藍住町○宮崎、井谷、堀内、新田、成田、佐田、平井○板野町○鈴木

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。

品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられ、実際は上記の3倍以上の皆様からご協力を頂いております。

きゅうり、トマト、ナス、トウモロコシ、ミカン、スイカ、ナシなど、旬のお野菜や果物を差し入れて下さった皆様、ありがとうございます。鹿肉、ジュース、お菓子などを下さった皆様もありがとうございます。経済的に厳しい家庭のメンバーも多く、食材などのご寄付は本当に有難いです。

メッセージを添えてお品物を郵送して下さった皆様、その他の皆様にもこの場を借りてお礼申し上げます。頂いた品物は大切に活用させていただきます。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

※本誌へのお名前の掲載を希望されない場合は「匿名希望」と記入して頂ければ幸いです。

編集後記～お客様にタメ口

「客に向かってタメ口をきいてくるあの茶髪の店員、何とかならんのか」

ある日、お客様からそのようなお話がありました。

メンバーAさんのことであることはすぐに察しがつきました。

当たり前のことですが、お客様にもいろ

いろな方がおられます。お互いタメ口は使うべきではないと考える方、店員に対してはタメ口で話すが店員はお客様にタメ口を使うべきではないと考える方、お客様も店員もお互いタメ口でよいと考える方、様々だと思います。

しかし、それを見極めることは、Aさんにとってはある意味難問です。



リサイクル作業所の日曜日のカレーと、月の宮作業所の毎日の昼食、月の宮生活棟の夕食を作るときに必要な食材が届くと、仕分けを行います。

今回届いたのは鶏のむね肉、豚小間切れ、ブロッコリー、カリフラワー、にんにくの芽、シイタケ、玉ねぎみじん切り、ニンジン乱切り、刻みネギ、オクラ、インゲン、ポイルポテト、かく天、焼ちくわ、洋風野菜ミックス、和風野菜ミックス、ミックスベジタブル等の冷凍食品です。

これをメンバーのBさんとCさんが協力してリストを見ながらチェックし、リサイクル作業所用と月の宮作業所用とに仕分けしていきます。

「こういうのはちゃんと指導せんとあかんやないか」

指導を受ければ誰でもできるようになる、と願いたいところですが、そうはいかないのが人間の難しいところです。

指導や教育があらゆる問題を解決する特效薬ならば、学校教育ですべて解決されているはずです。

実はAさん、タメ口以外の言葉も使えます。例えば最初の面接でいきなりタメ口を使う、ということはありません。

タメ口を使ってよいかどうか、Aさんなりの判断があり、単にタメ口を矯正するような指導や「相手に失礼だから」といった倫理的なアプローチを行っても、あまり意味はありません。

「指導してもあかんのやったら、辞めさせた方がええんちゃうん？」

人間に○か×かをつけて選別していく。使えない人間は捨てていく。これも今のトレンドなのでしょう。

「俺みたいなヤツは生まれてこん方が良かったんや」

支援学校を卒業し作業所に通い始めて最初の給料日、支援学校の先生が学級費未納分を徴収するため、Aさんを訪ねてきました。通常は保護者が納付するものですが、そうではない現実に吠えることしかできないAさんがいました。

自分の存在が肯定できず、感情のバランスを崩し、人や物に当たる日々。バランスの回復が毎日の「作業」だったAさんが、自分で心のブレーキを踏むことで、感情の爆発を週1回程度に抑えられるようになるのに、5年の歳月を要しました。

他者との関係の模索は始まったばかり。その人なりに自分の足で立ち、社会性も獲得していく、という道のりは、10年、20年、30年という長いスパンの話です。

目に見える結果をすぐに求める昨今の風潮には逆行するように思えるかもしれませんが…。(文責:小山)

(当会の日々日常をつなぎ合わせたイメージです)

NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街づくり」をテーマに、ハンディのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々(市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら土、日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く豊かであることを願っております。

発行:NPO法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島市国府町南岩延 107-1
TEL・FAX 088-642-1054
代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎
ご協力者名簿作成担当メンバー 岡田
ゆうメール押印・宛名シール添付担当メンバー 堀
製本・発送作業担当メンバー 岡田 福住

年会費：正会員 1万円 (総会議決権)

準会員 1,000円 (機関誌発送のみ)

郵便振替口座

01620-8-44703

加入者名：特定非営利活動法人太陽と緑の会